



スマホ用



## あけましておめでとうございます

去年はたくさんのご利用ありがとうございました。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

借りている図書が汚損・破損した場合は、ご自分で修理せず、そのまま図書館へお持ちください。CD・DVDや、紙芝居・大型絵本は破損しやすいので、カウンターへの返却をお願いいたします。



## 図書館カレンダー (1月)

20冊・3週間 借りられます

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						



## 今月の展示

### # 小説

時代小説

### # 実用書

冬のあみもの

おせち・年賀状

お参り入門

心をラクにできる本



## 館員おすすめの一冊

『行った気になる世界遺産』 鈴木 亮平/著 (ワニブックス)

現在、世界には1121もの世界遺産があります。2018年に長崎・天草地方の潜伏キリシタン関連遺産が登録されたのも記憶に新しいですね。

この本は、世界遺産検定1級を持つ俳優の鈴木亮平さんが実在する世界遺産を妄想で旅するという一風変わった旅行記です。30か所の世界遺産が登場しますが、どの場所も情景やそこに暮らす人々の生活が妄想とは思えないほど、いきいきと細やかに描かれています。中には遺跡にまつわる謎や言い伝えがエピソードとして紹介されているものもあります。例えば、2016年に世界遺産に登録されたミクロネシア連邦にあるナン・マートル。地元では「悪霊の棲む不吉な地」として恐れられている古代遺跡では、なぜか磁場が狂っているのですが、その謎は未だに解明されていないそうです。

それぞれの世界遺産に積み重ねてきた歴史や人々の想いが感じられ、もっと詳しく知りたいなと思いました。皆さんも、“妄想”世界遺産の旅に出かけてみませんか。(K)



## 新刊紹介

今月号は裏面もあります！  
お見逃しなく！



『古代エジプト解剖図鑑』	近藤 二郎	エクスマレッジ
『一〇〇年前の世界一周』	フルデマール・アベグ /写真・回想録	日経ナショナルジオ グラフィック社
『もてなしとごちそう』(旅行記・食エッセイ)	中村 安希	大和書房
『純喫茶とあまいもの 京都編』	難波 里奈	誠文堂新光社
『こころのソーシャルディスタンスの守り方』	大嶋 信頼	主婦の友社
『「仕事映画」に学ぶキャリアデザイン』	梅崎 修 [ほか]	有斐閣
『心病む夫と生きていく方法』	蔭山 正子/編著	インプレス
『交通事故の被害者になったら読む本』	ベンチャーサポート法律事務所	合同出版
『声が通らない!』(ルポルタージュ)	新保 信長	文藝春秋
『ふつうでない時をふつうに生きる』(エッセイ)	岸本 葉子	中央公論新社
『元女子高生、パパになる』(ルポルタージュ)	杉山 文野	文藝春秋
『雪のなまえ』(小説)	村山 由佳	徳間書店



## 西館日和

明けましておめでとうございます。

今年も西諫早図書館は地域のみなさんに役立つ情報や資料を提供し、気軽に立ち寄ってもらえる図書館づくりを目指します。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

去年は新型コロナウイルス流行のため、想像もしていなかった生活を送ることになりました。今年はいい年になりますようにと、みなさんも強く願われたことと思います。行動の自粛が呼びかけられ、いつもより静かでゆっくりしたお正月ではありませんでしたか。そんな時間を図書館の本が埋めてくれていたらとてもうれしく思います。

さて2021年はというと、今月、大学センター試験にかわって初めての大学入学共通テストが実施されます。3月11日は東日本大震災から10年を迎えます。そして7月には延期されていた東京オリンピックが、8月にはパラリンピックが開催されます。その頃には人の往来が自由になって、アスリートの熱戦とメダルラッシュのニュースに日本中世界中の人々が沸き、元気をとり戻していたらいいなと、決して楽観的ではなく、そう願ってほしいと願ってやみません。

館長 池田

## 図書館講座を開催しました

12/3・13 実用書実践活用講座

カーネーションとガーベラで  
フラワーアレンジ



栽培農家の方を講師にお呼びして、諫早特産のカーネーションとガーベラを使った、フラワーアレンジメントの講座を開催しました。参加者のみなさんは思い思いに花を使い、華やかなアレンジを作られていました。また、丁寧に育てられた花と向き合う時間は、心癒されるひとときにもなりました。たくさんのご参加ありがとうございました。



↑ 講座の準備。綺麗なお花をたくさん用意していただきました。

↓ 栽培農家の吉塚さんから、お花を長持ちさせる方法や、生産・流通の事情まで、幅広いお話をさせていただきました。



素敵なアレンジができました！



西諫早図書館では、毎年「実用書実践活用講座」と「文学講座」を開催しています。興味のある講座が開催される際は、ぜひご参加ください！

12/12・16 文学講座

俳人 向井去来をたどる



長崎出身の俳人・向井去来について、諫早市文芸協会会長を始め、多くの場で活躍されている吉岡乱水先生をお呼びして、文学講座を開催しました。テキストを中心に、向井去来の代表作である『去来抄』や、長崎に現存する句碑の紹介など、幅広くお話をさせていただきました。参加者のみなさんは真剣に耳を傾けられ、ときには質問も飛び交うとても有意義な時間となりました。たくさんのご参加ありがとうございました。



2日間とも、多くの方にご参加いただきました。みなさん真剣に先生のお話を聞かれています。

途中休憩の間も、雑談を交えながら俳句のお話をされていたり、先生へ質問をされている方もいらっしゃったり、真剣な中でも終始和やかな雰囲気でした。

